# 技術コラム

# (禅問答の巻)

### 目次

- 26. 閑話休題 秋の夜長、中国の馬のお話を3題
- 27. 試金石
- 28. お金と電気



#### 26. 閑話休題 秋の夜長、中国の馬のお話を3題

恐ろしいくらいの猛暑がやっと終わり 朝夕の気温に秋の気配を感じるようになりました。 筆者は、暑さくらいで食欲は落ちたことがないのですが、世間一般では天高く馬肥ゆる秋と 言います。 このことわざには、もう一つ意味があります。

漢の国の将軍である「趙充国 (ちょうじゅうこく)」が言った言葉

「雲浄(きよ)くして妖星(ようせい)落ち、秋高くして塞馬(さいば)肥ゆ」 訳すと雲がきれい見えて、秋には北方の馬が肥え太っている 不吉なことが起きそう。 中国の漢の時代 秋になるとに匈奴(モンゴル騎馬民族)が収穫した食料を略奪しに来ていました。夏に草原で肥え太らせた馬で、匈奴がやって来るので用心しろということです。 この略奪を抑える為、漢は匈奴に贈り物を何度もしています。戦争するより安上がりという こともあったようです。時代が変わり、匈奴の勢力も弱まるとことわざの意味も変わってしまい。秋の豊かな収穫のみを伝えることわざになりました。



この趙充国の話より 300 年ほど前の戦国時代の中国には、皇族や将軍達が、自分の馬を競走させて賭けをして楽しんだ。ある日、軍師孫膑は親友の田将軍が、この賭けにどうしても勝てないので、勝つ方法を相談に来た。

この賭けの競走の仕組みは、参加者は自分の持ち馬を三頭出場させて、それぞれ取り組ませる方法で三回出走させていた。

当然、第一組は一番速い馬同士であり、二番目はその次に速い馬同士となった。三番目は最も遅い馬同士である。田将軍の馬は、三頭ともあまり速くなかった。軍師は、田将軍に、一番目の出走馬には、最も遅い馬を出させた。相手は最も速い馬であったので簡単に負けてしまった。二番目には最も速い馬を出走させた。相手の二番目に速い馬には一番速い馬で勝つことが出来た。三番目には、二番目に速い馬を出走させた。これも、相手の一番遅い馬に勝つことが出来た。2勝1敗で、総合では賭けに勝つことができ大金と名声を得た。

一番目の出走を捨てたことが、勝因であった。この辺から、中国の歴史に軍師が登場します。

この戦国時代に、有名な話 人間、万事塞翁が馬 の話が登場します。確か筆者は、中学の 国語の教科書で読みました。

あるとき、飼っていた馬が逃げて北方の敵地(胡)に入ってしまいました。

周りの人々は皆、気の毒がって口々に慰めましたが、その老父は「いや、これが幸いになる こともある」と言います。 それから数ヶ月して、逃げた馬が胡の駿馬を一緒に連れて帰ってきました。そこで人々が祝福すると、彼は喜ぶどころか、「これは災いを招くこともある」と答えるのです。

その懸念が現実のものになります。彼の息子がその馬で落馬して、脚に大ケガをしてしまいました。周りは皆、かわいそうに思って慰めましたが、その父は「これが良いことになるかも」と穏やかにいいます。 その1年後、胡(匈奴)が大挙して侵入してきました。若者は弓を引いて戦いますが、10人中9人が死ぬという悲惨な結果になりました。

しかし塞翁の子は脚の傷害のため、戦乱に巻き込まれずに、生き延びることができたのでした。



まあ、人生長く生きていれば何が良いのか悪いのか。 おいしいものばかり食べていては、成人病になるし。賢く生きないと生き残れないし。 多少のことがあっても、考え方次第で生きていくしかないのでしょう。

今回は、中国の哲学でした。

#### 27. 試金石

試金石とは、本来加工された金の含有量を調べる道具で黒色の石英質の鉱石のことである。 主に、貴金属の価値を確かめる方法であることから転じ物の価値を確かめる手段全般のことを指すようになった。



よく、新しい技術を使って開発されたものが世の中に受け入れられるかどうかという時に 展示会における評価や、最初に大きな市場に数台納入して評判を聞くことを試金石という 場合がある。 物の価値とは、難しいものでいかに優れていても価格が合わないと売れない場合。 機能が飛びぬけて良くても、その機能が必要とされなければ、まったく売れないことがあり ます。多くの革新的技術もこの運命には翻弄されています。

まず筆者の頭にすぐ浮かぶものは、今は亡き VHS と β ビデオデッキの規格争いです。



技術的には、 $\beta$  の方が優れていたのですが 市場は VHS の圧勝で終わりました。 最終的にはソニー対その他の家電メーカーの販売戦略の戦いでした。 この争いも 20 年ほど前に終わり、勝者である VHS も今は市場に存在しません。 テレビとビデオデッキが一体となったテレビデオも、この最終局面で登場しています。 それと、カラオケや映画ではパイオニアのレーザーディスクが一世を風靡しました。 レーザーディスクは、DVD より前に普及したアナログ映像ディスクです。 致命的だったのは、レンタルがなく買い取りだったので高額な物になってしまった。 その次の世代として、VHS を駆逐したのが DVD です。今も市場の中心は DVD なので 市場の要求を満足し続けています。



DVD の次のメディアとして開発された BD (ブルーレイディスク) ですが当初は、少しもたつきましたが現在 DVD と市場を二分しています。

レンタルショップでは、明らかに DVD がいまだ主流ですが、録画デッキの市場に DVD の みは残っていません。 すべて BD に代わってしまいました。

少しマイナーですが、ビデオカメラも VHS と  $\beta$  の争いの後最終的には、ソニーの規格である 8 ミリ規格(パスポートサイズ)が勝利を収めました。



その後 8ミリも DVD に負け 今は メモリーカードになってしまいました。 更に、スマホによる動画撮影に取って代わられています。

筆者も、人生の記録を振り返ると結婚式は、VHSのビデオカメラで録画し子どもは、ソニーの8ミリビデオで成長を記録していました。しばらく時が経ち、子供の結婚式は、メモリーカードに録画しています。

この戦いは、まるで生物の進化論を見ているようです。ネットワークのビジネス市場では、 コロナによりオンライン会議がかなり普及しています。個人消費においてもネットワーク による動画配信が、一般的になりこの流れでレンタルビデオが廃れると DVD も近い将来 絶滅危惧種になるのでしょうか。

またコロナによって金の価格は、コロナバブルと呼ばれ市場最高値の様相を呈してきました。時代によって、物の価値観も変化しますが、

次世代の技術の価値を測る試金石とは、どうなってしまうのでしょうか。

因みに、すでに廃れてしまっているのに毎年年末にレコード大賞を選考していますが、本当に売れたレコードに大賞をおくるのであれば、昨年度のレコード発売枚数 4万9千枚なので何曲リリースされたかわからないので、2万5千枚売れれば レコード大賞になるはず。レコードも根強い人気があるといっても。絶滅危惧種であることに変わりはなさそうです。アナログが廃れデジタルの世界におけるダウンロード数もしくは、youtubeの閲覧数でデジタル大賞とでも呼ぶべきなのかもしれません。

映像や音楽の世界は、流行り廃りのサイクルも速く、基準となる試金石も変化していくので しょう。

#### 28. お金と電気

皆が欲しいもの1番は、とにかくお金ではないでしょうか。 毎日、いくらかはお金を使いますが、お金とはなんでしょうか?

毎日コロナのニュースで 時短や雇止め 補助金の話が溢れています。お金をありがたがるのは、もちろん人間だけです。人間以外の動物をお金で買収できません。

まあ、わずかの例外を除き動物はお金にありがたみを感じません。 カラスは、光るものを集める性質があるのでお金を持っていくかもしれません。 鹿やヤギは、お札を欲しがります。(食べ物としてですが)



同じ紙でも、コストで考えるとほぼ同じなのに印刷が違うと 1000 円 5000 円 10000 円 と価値が違います。お金とは、人間のみが かかるよくできた催眠術のようです。

昔、アメリカ人に大阪 箕面のサルは 100 円やったら自動販売機でジュースを買うと言ったら私のこと疑いぜひそのサルを見たいと言い出しましたが箕面に行く時間がなかったので、私を信じないのか、私の上司に箕面のサルは自販機でジュースを買うのかと尋ねると上司は、箕面のサルは 500 円玉で買っておつりを持っていくと説明していました。他のエンジニアも箕面のサルは腹巻に財布を入れているとか言い出します。



この話は、昔の大阪ではあるあるとノリの良い話だったのですが、最近の世情ではこんなの んびりした与太話は全くうけません。

ここで、少し真面目な話ですが、世の中に何の仕事もなくジャブジャブにお金を入れると どうなるでしょう? 結論は、お金の価値が下がり何も買えなくなります。

お金とは、多くの人の間を動いてこそ価値を生みます。多額のお金が速く動くものであるからこそ、多く貯めることに価値が生まれるのです。量も大事ですが速度も重要です。量が経済規模で 速度は景気です。だから、補助金は国が出した後どれだけ早く税金で回収できるかが問題なのに、どれだけ支給されるかしかニュースになりません。

また、経済とは無駄の連鎖がどれだけ続くかで、使った金が一回で止まると無駄金(死金)となります。金は天下の回り物です。

よく、小学校で電気の話を水に例えて電圧は水位 電流は水の流れと教えることがありま すが電気をお金に例えると、電圧は所持金で 電流はキャッシュフロー(使う金額) 抵抗 (節約で衝動買いを抑える気持ち)の方が説明しやすいのではと思ってしまいます。 電池は、間違いなく預貯金で コンデンサは、タンス貯金 コイルはカード払い(支払いが 少し遅れる)となるのではないでしょうか。

交流では、金が入ってきたりすぐに出て行ったりで 稼いで返す自転車操業? バブリーな電子マネーは、速度が超高速なので価値がすぐ跳ね上がり暴落も超高速になる のではと思ってしまいます。

話がややこしくなりましたが、筆者の人生目標は解脱して仙人のようなエンジニアなので お金にことは気にせず生きて行きたいと願っています。

これを言うと、お小遣いを減らされるので家では極秘事項です。

### 技術情報 お問い合わせ先:



アクシス・ネット株式会社

URL:http://www.axisnetinc.com

本社

〒532-0011

大阪市淀川区西中島 6-8-8 204号

TEL:06-4806-8570 FAX:06-4806-8572 TEL:048-611-6502 FAX:048-611-6666

東日本オフィス

〒330-0854

さいたま市大宮区桜木町 1-9-18 Mio 大宮